

トビウオ通信 (3月号)

(TEL 0855-22-1720)

《平成 17 年の島根県漁業の動向》

今月は水産試験場の漁獲管理情報処理システム（TACシステム）により集計した県下主要 13 漁協の漁獲統計資料（属人）から、平成 17 年（1～12 月）の島根県漁業（海面、漁船漁業）の動向を取りまとめました。漁業種類にもよりますが、島根県の属人統計（農林統計）の約 85% が集計対象となっています。

全体 … マアジ・ブリの減少やクラゲ被害のため前年をやや下回る

平成 17 年の総漁獲量は約 9 万トン、総生産額は約 166 億円でした（図 1, 2）。島根県の漁獲量は平成 14 年以降増加傾向にありましたが、平成 17 年の漁獲量は減少に転じました（漁獲量：前年比 87%、平年（過去 5 年）比 92%、生産額：前年比 90%、平年比 89%）（図 3）。生産額も平成 13 年以降横這いでしたが、平成 17 年は減少しました（図 4）。漁獲量の減少の最も大きな要因は、漁獲物中で大きな割合を占めるマアジの漁獲量が前年比 66% と大幅に減少したことです。また、生産額の減少はマアジの減少の他、ブリが前年比 56% と低調だったことが大きく影響しています。また、定置網や底びき網をはじめとして多くの漁業で大型クラゲの被害が発生したことや、年末の荒天で出漁日数が減ったことも漁獲減の原因と考えられます。

2005年 漁獲量(単位:千トン)
(総漁獲量90千トン)

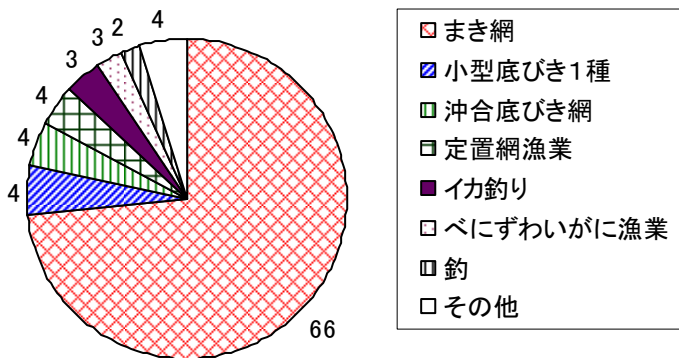


図 1 平成 17 年の島根県の漁業種類別漁獲量

2005年 生産額(単位:億円)
(総生産額166億円)

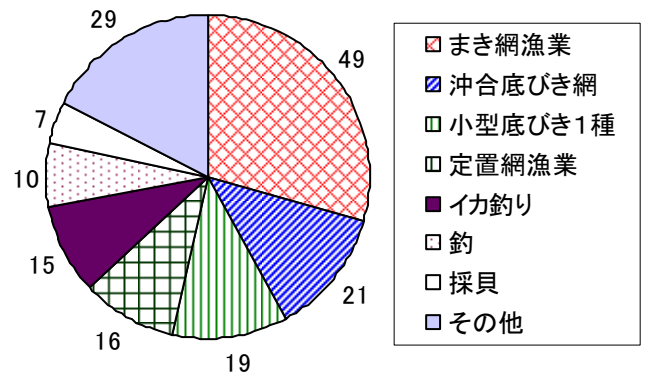


図 2 平成 17 年の島根県の漁業種類別生産額

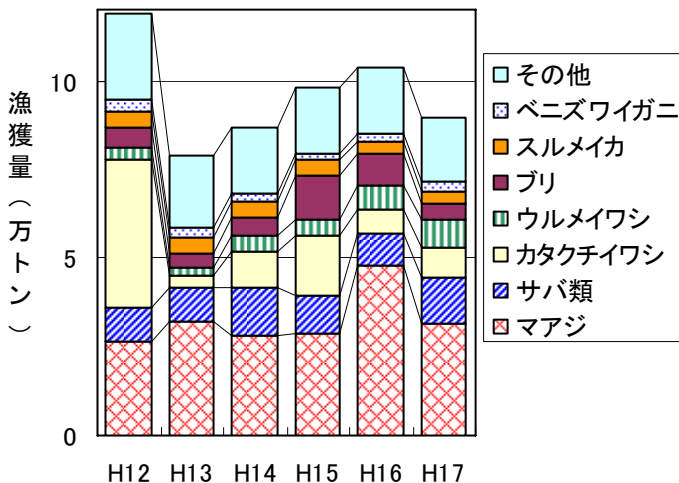


図 3 島根県の魚種別漁獲量の推移

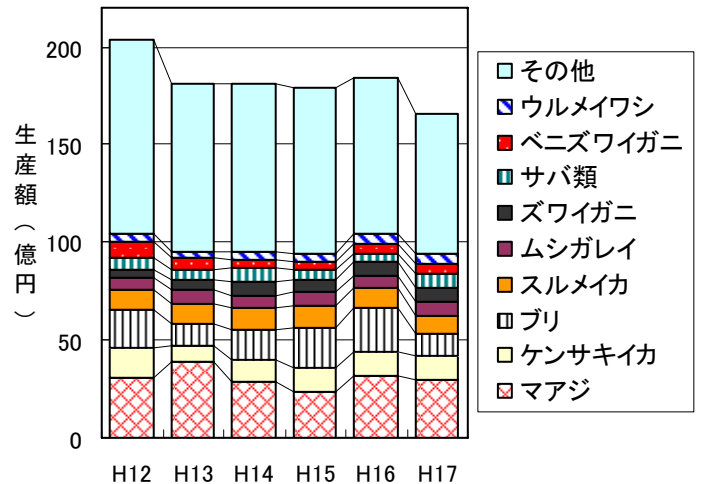


図 4 島根県の魚種別生産額の推移

中型まき網漁業 …マアジ・ブリ減少で減

まき網漁業の中核をなす中型まき網漁業は、マアジ・ブリが減少したため前年より減となり、漁獲量で過去5ヶ年の平均の93%、金額で同84%となりました。(中型まき網についてはトビウオ通信2月号で詳しく報告していますのでそちらをご覧ください。)

小型底びき網1種漁業 (図5) …前年より2割減

小型底びき網1種漁業(かけまわし)の漁獲量は平成14年以降増加傾向にありましたが、平成17年は大型クラゲや年末の荒天の影響もあり、漁獲量・生産額ともに前年を下回りました(前年比で漁獲量82%・生産額80%)。主要魚種では前年に比べニギス、キダイ、アンコウなどの落ち込みが大きく、漁獲物の中心であるソウハチなどのカレイ類も低調となっています。

沖合底びき網漁業 (図6) …4年連続で漁獲減

沖合底びき網は総漁獲量・生産額共に前年を下回りました(前年比で漁獲量86%・生産額93%)。漁獲量・生産額共に4年連続の減となっていますが、これは統数の減少が大きな原因で、1統あたりで見ると漁獲は横這いとなっています。魚種別では前年に比べ、ムシガレイやスルメイカ、ニギスは増加しましたが、キダイ、アカムツ、アナゴ・ハモなどが大きく減少しました。

定置網漁業 (図7) …漁獲量減、金額は前年並

定置網はマアジが大きく減少したため(漁獲量で前年比67%)、総漁獲量は前年比90%、平年比85%と減少しました。また、夏以降大型クラゲの入網により操業に支障をきたした経営体が多く、9~11月の定置網の総漁獲量は平年の4~7割程度となっており、漁獲減はクラゲの影響も大きいと考えられます。しかし、ケンサキイカ(金額で前年比163%)、クロマグロ(同前年比730%)など魚価の高い魚種の漁獲増により、生産額は前年並(前年比103%)に落ち着きました。

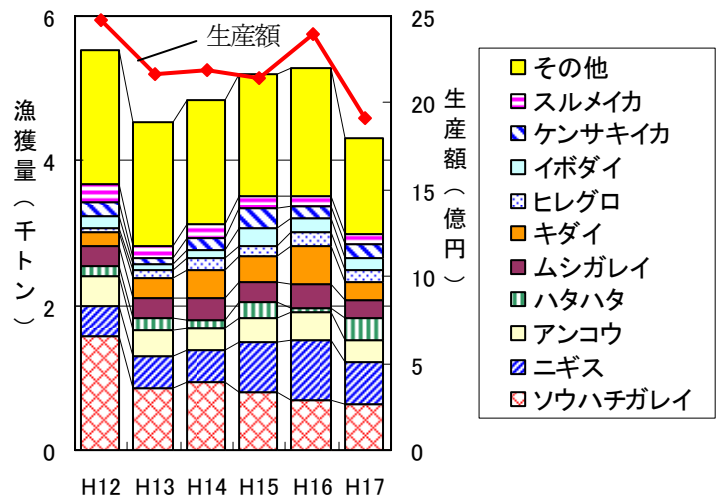


図5 小型底びき網1種の魚種別漁獲量と総生産額

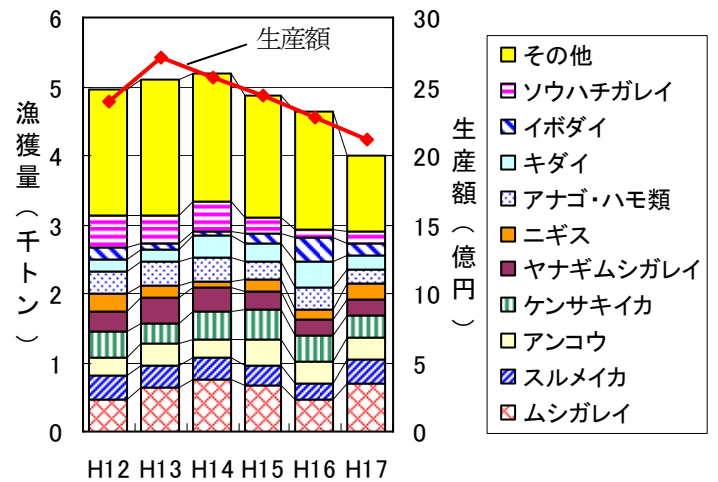


図6 沖合底びき網の魚種別漁獲量と総生産額

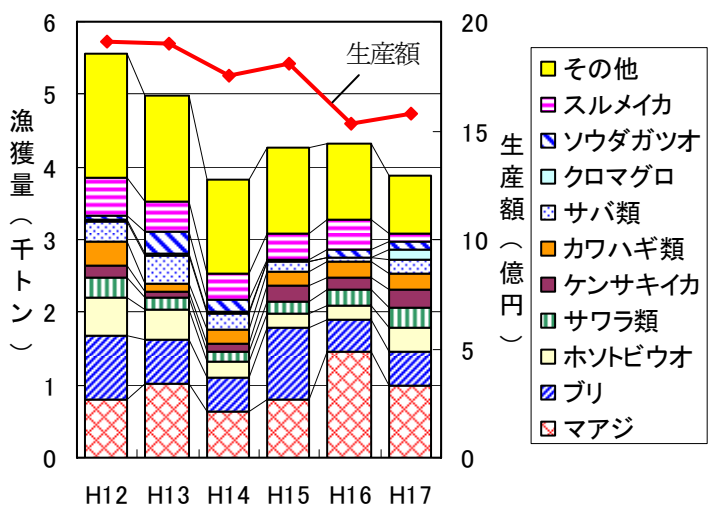


図7 定置網の魚種別漁獲量と総生産額

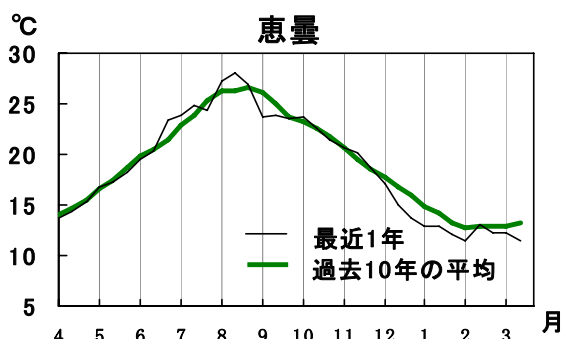
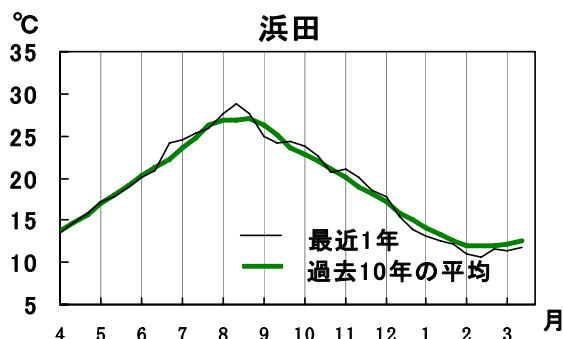
※ 各漁業の概要やトビウオ通信バックナンバーについては島根県水産試験場ホームページをご覧ください。

(<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/>)

《 2-3月の海況 》

| 2月 | 月平均 | 平年差 | 評価 |
|----|-------|-------|------|
| 浜田 | 11.1℃ | -0.9℃ | やや低め |
| 恵曇 | 12.3℃ | -0.6℃ | やや低め |

1月に引き続き2月もやや低めの水温が続き、浜田で平年より0.9℃、恵曇で平年より0.6℃低い水温となりました。3月に入っても水温はやや低めに推移しています。



＜大型クラゲ情報＞

- ◎ 2月中旬以降、被害が出るようなクラゲの入網報告はなく、大型クラゲの来遊は終了したと思われます。
- ◎ 今年度の大型クラゲ来遊状況について
 - ・平成17年度は例年になくクラゲの来遊量が多く、これまでで最大級の来遊であったと考えられます。来遊の時期も7月末～2月末までと非常に長期にわたり、多くの漁業被害を出しました。今年度のクラゲ来遊状況のまとめについては「とびくす7号」で詳しく報告します。



※ インターネットでのクラゲ速報の提供は今年度は3月末で終了します。

<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/ik/>

《 2月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田の中型まき網の総漁獲量は、ウルメイワシを主体に350トン、総水揚金額は1,430万円でした。1統当りの漁獲量は117トン（平年(過去5ヵ年平均)の7割、前年の1.2倍）、同水揚金額は477万円（平年の5割、前年の1.1倍）となり、主力のマアジの不漁（平年、前年の1割以下）により前月に引き続いて低調に推移しました。西郷では、マアジ主体に総漁獲量は1,261トン、総水揚金額は7,151万円でした。1統当りの漁獲量は210トン（平年、前年の7割）、同水揚金額は1,192万円（平年の7割、前年の6割）となり、前月まで好調だったサバ類の大幅な減少（平年、前年の2割）により低調に推移しました。浦郷ではマアジ主体で、総漁獲量421トン（平年の5割、前年の9割）、同総水揚金額は3,003万円（平年の7割、前年の8割）でした。1統当りの漁獲量は105トン（平年の5割、前年の9割）、同水揚金額は751万円（平年の7割、前年の8割）となり、西郷と同様に前月まで好調だったサバ類の減少（平年の4割、前年の6割）により低調に推移しました。

【イカ釣漁業】

浜田港に水揚げするイカ釣船（5トン以上）の漁獲量は、スルメイカ中心に179トンで、平年（過去5ヵ年平均）の7割、前年の3割と低調に推移しました。西郷のイカ釣船（5トン以上）の漁獲量はスルメイカ主体の2.7トンで、平年、前年の1割と浜田港と同様に低調に推移しました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではスルメイカ、イボダイが漁獲の中心でした。1統当り漁獲量では前年を約1割上回りましたが、水揚金額では1割下回りました。平年（過去10年平均）に対しては量で約1割（14%）、金額で約1割（7%）上回りました。カレイ類ではヤナギムシガレイが前年の4割程度の漁獲量に留まりましたが、ムシガレイ、ソウハチはいずれも前年を1.5倍から1.6倍上回りました。イカ類では、スルメイカが好調で、前年の2倍、平年の2.5

倍の漁獲がありましたが、ケンサキイカは前年の1割以下に留まりました。

恵曇港ではアカガレイが漁獲の中心でした。

【小型底びき網漁業】

大田市・和江漁協ともに、出漁日数は前年並みかやや上回ったものの、漁獲量では前年の7～9割程度に留まりました。水揚金額でも同様に前年の6～7割程度に留まりました。

大田市漁協の主な漁獲物はソウハチ、ニギス、ハタハタでした。ソウハチは前年同月の漁獲量の約8割、ニギスは約5割に留まりましたが、ハタハタは約2割上回りました。

和江漁協ではソウハチ、アンコウが主に漁獲されました。ソウハチは前年同月の漁獲量の約6割に留まりましたが、アンコウは約1.7倍の漁獲がありました。

【定置網漁業】

県東部は漁獲量で平年の1.7倍、金額で平年の1.4倍と好調でした。漁獲物はサバ類が全体の6割を占め、その他はマアジ・スルメイカ・スズキ等が漁獲されました。隠岐では漁獲量で平年の4.4倍、金額で平年の1.7倍と好調でした。これは前月と同様に島前地区でスルメイカが豊漁だったためであり、隠岐地区の定置の漁獲量の9割以上をスルメイカが占めています。県西部は休漁により漁獲はありませんでした。

【釣・縄】

県東部は漁獲量で平年の9割、金額で平年の8割と平年を下回りました。漁獲物は前月に引き続きブリが主体（全体の5割）で、その他はヤリイカ・メダイ等が漁獲されました。県西部では漁獲量で平年の1.2倍、金額で平年の9割でした。漁獲物はメダイ・サワラ・マダイ等が漁獲されました。隠岐ではスルメイカが漁獲の9割を占め、漁獲量で平年の1.6倍、金額で平年の7割となりました。

漁獲統計

平成18年2月1日～28日

| 漁業種類 | 水揚港 | 延隻数・統数 | 主要魚種 | 1隻(統)1航海当漁獲量* | 総漁獲量 |
|-----------------|-----|--------|------------------|---------------|--------|
| 中型まき網 | 浜田 | 13 | ウルメイワシ | 27.0ト | 350ト |
| | 西郷 | 38 | マアジ・スルメイカ | 33.2ト | 1,261ト |
| | 浦郷 | 16 | マアジ・サバ類 | 26.4ト | 422ト |
| イカ釣り (5トン以上) | 浜田 | 206 | スルメイカ | 869kg | 179ト |
| | 西郷 | 11 | スルメイカ | 247kg | 2.7ト |
| 沖合底びき網 | 浜田 | 25 | スルメイカ、イボダイ | 15.9ト | 397ト |
| | 恵曇 | 17 | アカガレイ | X*** | X*** |
| 小型底びき網 | 大田市 | 214 | ソウハチ、ニギス、ハタハタ | 527kg | 113ト |
| | 和江 | 336 | ソウハチ、アンコウ | 592kg | 199ト |
| 定置網 | 美保関 | 107 | マアジ、サバ類 | 488kg | 52ト |
| | 浦郷 | 67 | スルメイカ、マアジ | 1,369kg | 92ト |
| 釣・縄 | 浜田 | 525 | メダイ、ブリ、マダイ | 24kg | 13ト |
| | 五十猛 | 132 | カサゴ・メバル類、マダイ、メダイ | 21kg | 3ト |

※：1隻(統)1航海当漁獲量は総漁獲量÷延隻数・統数で算出しており、四捨五入した値です。

※※：個人情報保護のため非公開